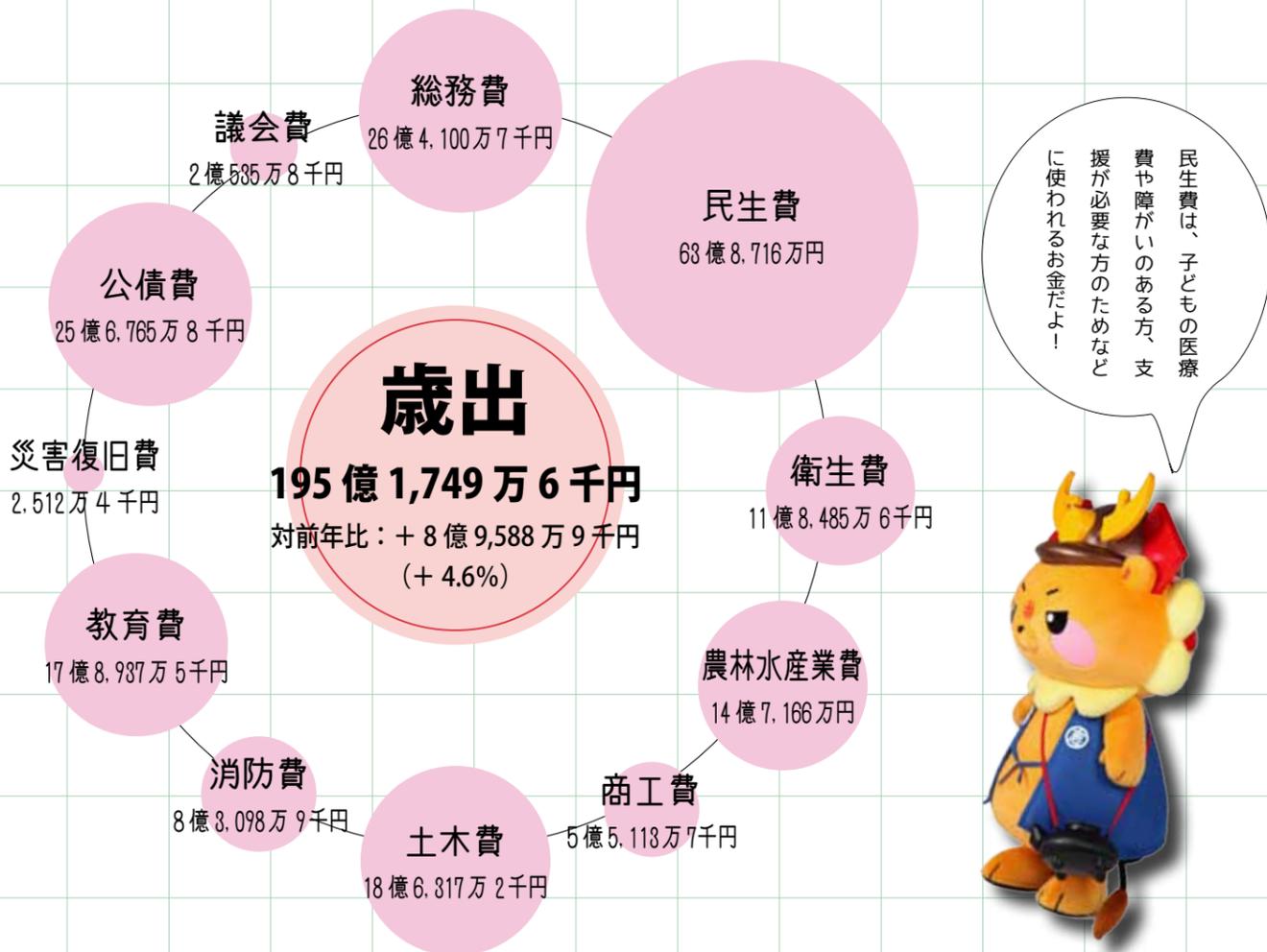


# 一般会計の決算状況を報告します。

決算とは、市民の皆様が納めた市税や、国・県からの補助金などがいくら入ってきて、市民の皆様のためにどのように使われたかを整理した、市の家計簿のようなものです。

平成25年度の歳入(収入)決算額は200億4,150万8千円、歳出(支出)決算額は195億1,749万6千円となりました。前年度決算と比較すると、歳入で9億5,334万4千円、4.8パーセントの増、歳出で8億9,588万9千円、4.6パーセントの増となりました。



民生費は、子どもの医療費や障がいのある方、支援が必要な方のためなどに使われるお金だよ！



市税の内訳  
 個人住民税：9億3,516万5千円  
 法人市民税：2億3,184万8千円  
 固定資産税：15億6,286万9千円  
 軽自動車税：1億148万5千円  
 その他の市税等：4億90万8千円

自主財源は市が自らの意思で収入を得ることができるお金で、市税、繰入金、使用料などです。平成25年度決算の自主財源総額は53億5,088万円。歳入総額の26.7%です。

依存財源は国の意志により交付されたり、割り当てられたりするお金で、地方交付税や市債などです。平成25年度決算の依存財源総額は146億9,062万8千円。歳入総額の73.3%です。

**決算収支の状況**  
 決算収支は歳入歳出差引額で5億2,401万2千円、実質収支は4億7,785万9千円の黒字となりました。実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支では3億1,133万3千円の黒字となりました。  
 また、単年度収支に積立金・繰上償還金を加え、積立金取崩額を差し引いた実質単年度収支では1億3,672万9千円の黒字となりました。

**歳入の状況**  
 歳入(収入)のうち、最も構成比が大きいのは、地方交付税の76億8,670万2千円で38.4%、次いで市税の32億3,227万5千円で16.1%、国庫支出金の24億9,016万2千円で12.4%、市債の24億5,990万円で12.3%の順となっています。

**歳出の状況**  
 歳出(支出)のうち、最も構成比が大きいのは、民生費の63億7,716万円で32.7%、次いで総務費の26億4,100万7千円で13.5%、公債費の25億6,765万8千円で13.2%、土木費の18億6,317万2千円で9.5%、教育費の17億8,937万5千円で9.2%、農林水産業費の14億7,166万円で7.5%の順となっています。

歳入歳出決算差引額  
**5億2,401万2千円**

平成26年度への繰越分(平成25年度中に完了しなかった事業の経費)

**4,615万3千円**

平成25年度の黒字額(実質収支)

**4億7,785万9千円**

**特別会計の状況**  
 特別会計とは、特定の事業を行う場合に特定の収入を特定の支出に充て、一般会計とは別に明瞭な収支管理を行うことです。平成25年度の特別会計歳入決算額は96億9,718万5千円、歳出決算額は92億6,957万1千円となっています。  
 なお、工業団地整備特別会計は、平成25年度に創設されました。

- 歳入・歳出用語の説明
- 歳入用語
  - 歳出用語
- ①税外収入：自主財源のうち、市税を除いたもの。使用料・手数料など。
  - ②地方交付税：市などが行政サービスを提供するために、国が一定の基準で配るお金。
  - ③国庫支出金・県支出金：市が行う特定の事業に対して国又は県から交付されたお金。
  - ④市債：市が行う事業のために借入れたお金で、返済に1年以上かかるもの。
  - ⑤その他：地方譲与税、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金などの合計額。
  - ①公債費：市債の返済に使われたお金。
  - ②総務費：市の財産や職員の管理、地域振興、税金や戸籍の事務に使われたお金。
  - ③教育費：市立の小学校や中学校の管理運営、生涯学習などに使われたお金。
  - ④土木費：道路や市営住宅等に使われたお金。
  - ⑤衛生費：ごみの処理や健康増進のために使われたお金。
  - ⑥消防費：消防署(曾於地区消防組合)や市の消防団のために使われたお金。
  - ⑦商工費：商工業や観光、企業誘致のために使われたお金。